

# 第35回

# うつのみやこども賞だより

平成30年度 5回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

## 『日曜日の王国』

日向理恵子／著 サクマメイ／絵 (PHP研究所)

### ～読んだ本の感想より～

- こんなことはたいけんしていないけれど、たいけんしたようなふしぎなきもちになりました。
- 学校に行けなくなったまゆが絵教室を通してだんだんと心を開いていくというお話がおもしろかったです。
- 蝶子さんの正体が分かったときや、作品展が終って、日曜日舎をおとすれたときは、感動して泣いてしまいました。
- 最後の時に、蝶子さんのしょうたいがわかったときや、日曜日舎がなくなったとき、思わずなきました。友達に親子で読んでほしいです。
- <日曜日舎>の中にいた、日曜日にしか生きられない人たちと関わるうちに明るくなるまゆを見て、私も<日曜日舎>に行ってみたくくなりました。



## 『ドリーム・プロジェクト』

濱野享子／著 (PHP研究所)

- インターネットのせいかいは複雑だけれど、説明もあったし、千聖、日菜子、翠、建斗、そして茜が協力してクラウドファンディングをやるという決断力はすごいと思った。
- クラウドファンディングに目を付けるなんて思いにもよらなかった。おもしろい本だった。
- たくまちはどんな困難にも立ち向かい、がんばっていて感動しました。みんなの協力もすごいなと思いました。
- 中学生が仲間と協力して、事業が達成されるという勇気があっていいと思う。達成できるのかドキドキしながらよむことができた。
- インターネットでの挑戦がとてもおもしろい。

## 『兄ちゃんは戦国武将!』

佐々木ひとみ／著 (くもん出版)

- 最初は恥ずかしいお兄ちゃんだと思ったけど最後は自まんの存在となって良かったと思った。
- お兄ちゃんのがんばっているすがたがよかった。
- 武将隊が被災した人々を元気付けているということがすごいと思った。また、自分も伊達武将隊に会ってみたいと思った。
- れきしの勉強になるし、いろいろわかるのでいいと思いました。
- なつきがどう思っているのかを知って、はるきも自分だけのドラゴンを見つけようとさめるストーリーがおもしろかったです。

## 『わたしのチョコレートフレンズ』

嘉成晴香／著 (朝日学生新聞社)

- 同じ1つの場面での出来事で、その登場人物のそれぞれの気持ちがかかれています。おもしろいと思いました。
- まおが転こうしてきて、女子たちの関係がくずれてしまったときのまおの気持ちに共感できた。
- これからどうなるんだろう、ケンカしたままなのかな、まおもきらわれちゃうのかな、などいろんな感じようがわいてくる本でした。
- 万緒が書いた物語が凛太のクラスで起こる出来事とリンクしはじめるというウソみみたいな展開が面白かった。
- 共感するところもあれば、考え方がちがうところがあり、読む手が止まらなくなりました。